

令和7年度

運営に関する計画  
(最終評価)

大阪市立三軒家西幼稚園

令和8年3月

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

- 昨年度に引き続き、「今の子どもたち」に合った保育内容を試行錯誤しながら進めていくことの重要性を踏まえ、様々な人とかかわりを多くもてるよう異年齢児や地域の方との交流活動を実施したり、幼小連携を深めるため小学校との交流活動を今まで以上に実施する。
- 引き続き、子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育に取り組んでいく。二次避難所でもある三軒家西小学校への避難訓練や、あらゆる時間帯や場所で臨機応変に対応できるよう無予告での訓練を積み重ねていきたい。また、減災の取り組みとして園児や保護者への啓発を実施する。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度の保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にした教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 令和7年度の保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和7年度の保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

- 今年度末の保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にした教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 今年度末の保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。
- 今年度末の保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 今年度末の保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

年度当初に掲げた各取り組み内容や指標を考慮しつつ、今年度の幼児の発達段階や実態を踏まえた教育活動を実践することができた。

23名が回答した保護者アンケートでは、「一人一人を大切にした教育を行っていますか。」という問いに対して、22名の方に「そう思う」という回答をいただくことができた。日々幼児の姿や成長を教職員で丁寧に見守りながら、子どもたちが楽しめる環境を整えてきた結果であると考えられる。

また、園での様子や成長を保護者と日々共有したり、一人一人に合った対応を保護者と共に探ったりして、保護者の思いに寄り添い続けてきたこともこの結果に結びついたのでないかと考えられる。

今年度の自己評価や次年度への課題を考慮し、次年度の幼児の実態に即した取組内容を新たに考え、保育実践していきたい。

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安心・安全な教育の推進】 1-1</b></p> <p><b>園の年度目標</b></p> <p>保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。</p>	<b>B</b>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>非常変災時に備えて避難訓練を実施し、子どもの安全意識を高める。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各安全計画を見直し、避難訓練を実施する。(年10回：通常8回、預かり2回)</li> <li>・保護者と合同避難訓練、保護者への引き渡し訓練を実施し、減災について保護者への啓発を行う。(年3回)</li> <li>・近隣の小学校と連携し、避難訓練を実施する。(年1回)</li> </ul>	<b>B</b>

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【年度目標】</b>について</p> <p>○保護者アンケートで、「子どもの安全を考えた防災、減災・安全教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は100%であった。</p> <p><b>【取組内容】</b>について</p> <p>○予定通り避難訓練を実施した（通常8回、預かり2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練実施前に様々な災害を想定し、計画案は安全な避難経路になっているか職員間で話し合い、避難経路を確保し、迅速な避難へと繋がった。</li> <li>・防災教育として「お・は・し・も・な」の約束や地震時の避難の姿勢、火災時はハンカチを口に当てるなど視覚物を用いて指導した。イラストで掲示したり、職員が実際に見本を見せたりすることで、子どもたちの理解が深まり、教師の指示を聞いて落ち着いて避難できるようになった。</li> <li>・今年度、防災頭巾を子どもの椅子につけて、日頃は座布団として使い、非常時はすぐに防災頭巾を被ることができるようにした。</li> <li>・6月に不審者を想定し、避難訓練を実施したが、不審者対応について職員間で話し合い不審者を想定した避難訓練を1回増やした。子どもたちは、不審者を想定した避難の仕方を知ること、様々な非常時があることを知ることができた。</li> <li>・880万人避難訓練時の防災無線を聞き、無予告だったが、各クラス避難をすることが</li> </ul>

できた。日頃から避難訓練を行っていたため、防災無線を聞き、放送の内容を理解しようとする姿が見られた。

- 6月と11月に保護者への引き渡し訓練を2回実施した。6月には、不審者対応による園での引き渡し、11月には、津波を想定し小学校での引き渡しを行った。職員間で連携し、複数の教職員で引き取り者の確認をすることで、より安全に保護者への引き渡しを行うことができた。
- 保護者との合同避難訓練を実施した。無予告で避難訓練を行ったところ、非常ベルの音をよく聞き、全園児シェイクアウトを行い、避難をすることができた。
- 1月に三軒家西小学校との幼小合同避難訓練を計画・実施した。3歳児と6年生、4歳児と4年生、5歳児と5年生がペアになり行動したことで、安心感をもって避難することができた。放送での校長先生の話も落ち着いてよく聞き、非常時の備蓄品の中身を見せていただいたことで、一定時間避難所で安全に過ごすための非常グッズがあることを知った。
- 減災教育として、保護者に向けて「減災のてびき」と「ぼうさい」の絵本より、「非常時  
の持ち出し袋を用意しているか」「非常持ち出し袋の中身」「災害が起きた時にどうするか  
話し合う」という内容で掲示物を作成した。降園時に保護者へ見てもらえたことで、防災・減災について関心をもつきっかけとなった。

#### 次年度への改善点

- 様々な非常時を想定し、避難経路は安全か職員間で話し合いをしながら、より迅速な避難ができるようにする。
- 三軒家西小学校と連携し、避難訓練を実施する
- 減災について保護者への啓発の仕方をさらに工夫する。

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安心・安全な教育の推進】 1-2</b></p> <p><b>園の年度目標</b></p> <p>保護者アンケートで、「一人ひとりの子どもを大切にしたい教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <p>身近な人に、親しみをもってあいさつをする。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの実態や変容を踏まえ、指導内容や具体的な指導方法について共通理解をする。(月1回)</li> <li>・あいさつ週間を実施する。(年3回)</li> </ul>	B
<p><b>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <p>身近な自然への興味や関心を高め、季節を感じられる遊びを存分に楽しむ。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持った教育をすすめる為に年間計画を立て、子どもが、遊びを通して季節を感じられる環境づくりを行う。(年4回 春夏秋冬)</li> <li>・ふれあい野菜栽培を実施する。(年2回)</li> </ul>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p><b>【年度目標】</b> について</p> <p>2学期末の保護者アンケートで「一人ひとりの子どもを大切にしたい教育を行っていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が100%だった。</p> <p><b>【取組内容①】</b> について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちが親しみをもって挨拶をし、互いに関われるようになるために、登園の様子や、子ども同士の関わる姿を教職員が観察し、取り組みに繋げた。</li> <li>○あいさつ週間では、教職員が通用門に立ち、進んで挨拶をすることで、登園時に保護者と離れることが難しい子どもも安心して保育室に入るようになった。</li> <li>・5歳児と3・4歳児の保育室が離れているため、関わりがもてるように、登園時に5歳児が3・4歳児の保育室に行き、挨拶をした。また、全クラスが一緒に遊ぶ機会を1学期に多くもつことで、5歳児が3・4歳児に積極的に挨拶をする姿が見られるようになった。次第に、年齢に関係なく挨拶を交わすようになった。</li> </ul> <p><b>【取組内容②】</b> について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学期に2回以上、年間計画に沿って環境作りを行った。遊びを通して季節を感じられる環境作りに教師が常に目を向けることができた。</li> </ul>	

1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然物を使ったままごと遊びができるように、園庭に草花などを種類ごとに用意した。花を飾れるようにオアシスやペットボトル、リボン等を用意したことで、さらに遊びが充実した。</li> <li>・水遊びでは、遊びの用具を精選し、子どもたちが扱いやすい環境を整えた。色水遊びでは、花の種類によって色の出方が違うことに気付いたり、色の変化や花の香りを楽しんだりした。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サツマイモ、柿、天王寺カブラの収穫をした。収穫を楽しんだことで、自然物に興味をもって見たり、触れたり、数を数えたりして楽しむ姿が見られた。</li> <li>・秋の自然物を使って遊ぶことができる環境を整えた。(マツボックリの飾りつけ、サツマイモのツルを使ったリースづくり など) 子どもたちは、秋の自然物を使ってつくることを楽しんだ。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと一緒にチューリップやビオラ、冬野菜の水やりをしたり、生長を見たりした。自分の育てている自然物に愛着をもち、生長の変化を楽しむ姿が見られた。</li> <li>・子どもが季節を感じられるような遊びを取り入れた。(園庭探検や虫探しなど) 子どもたちは、春が来ることに期待をもったり、季節の変化を感じたりする姿につながった。</li> </ul>
<p>○ふれあい栽培を2回(夏野菜とサツマイモ、冬野菜)実施した。自分たちで苗を植え、水やりをしながら野菜の生長を観察した。毎日見ることで、小さな変化にも気づき、収穫する喜びを保護者と味わうことができた。</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も教職員が門で挨拶を行い、登園時の子どもの様子を見守る。</li> <li>・次年度も見通しをもって自然物の環境整備ができるよう、年度当初に栽培計画を立て、教職員が日頃から意識をもって取り組めるようにしていく。</li> </ul>	

大阪市立三軒家西幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】 2-1</b> <b>園の年度目標</b> 保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。	<b>A</b>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】</b> 子どもが主体的に遊びを楽しめるような教師の教育的意図をもった働きかけや環境構成を工夫する。	<b>B</b>
<b>指標</b> ・子どもの実態把握をし、保育環境についての検討会を行う。(月1回) ・週案や行事計画の立案時に、就学前教育カリキュラムを活用し、教育的意図をもった働きかけや環境構成を工夫する。(月4回)	
<b>取組内容②【基本的な方向3 幼児教育の推進と質の向上】</b> 季節や時期に応じて、教師や友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。	<b>B</b>
<b>指標</b> ・様々な場所で楽しみながら体を動かす機会をつくる。(月1回) ・教職員が季節や時期に応じた体を動かす遊びや体操等の教材研究を行い、職員間で共有する。(月1回)	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<b>【年度目標】</b> について 保護者アンケートで、「自分の好きな遊びを見つけ、のびのびと遊ぶことを楽しんでいますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は100%であった。
<b>【取組内容①】</b> について ○月1回以上、教職員間で保育環境についての検討を行った。(各行事の打ち合わせ、園庭の遊具の精選、導線を考えた置き方 など)子どもの実態に合わせて検討をし、その都度環境を再構成したことで、子ども達がいろいろな遊びに興味をもち、自ら好きな遊びを見つけて遊びを楽しむ姿につながった。 ・園内委員会を実施し、教職員間で各クラスの子どもの実態を共通理解し、一人一人の子どもに合った手立てや方法について検討することができた。
○月4回以上、週案や保育案、各行事の計画案(誕生会、園外保育)、保護者への配布物(保育参観のしおり)の作成時に就学前教育カリキュラムを活用し、ねらいや教育的意

図をもった働きかけを明記した。また、保護者会でも啓発を行った。

- ・就学前教育カリキュラムを活用し、教育的意図をもった働きかけ、環境構成などを工夫することができた。
- ・運動会では、就学前教育カリキュラムの「3歳児 体 運動」の「周囲の友達と関わりながら進んで体を動かす楽しさを味わえるように音楽や遊具を準備する」、「4歳児 知創造」の「絵本や物語、歌等からイメージしていることを引き出し、表現して楽しむことにつなげていく」、「5歳児 徳 人と関わる力」の「困ったときや思いがぶつかり合ったときを捉え、友達と考えを出し合い、葛藤やつまづきを体験しながら互いの気持ちを理解し、折り合いを付けるような仲立ちをする」などの教育的意図をもった働きかけを参考にした事で、3歳児は恐竜、4歳児は虫、5歳児はリズムに合わせてパーランクーを楽しんだ。教師や友達と一緒に安心して、進んで体を動かすことを楽しむ姿につながった。

【取組内容②】について

- 月1回以上、暑さや気候を考慮しながら、園庭や空調設備がある遊戯室、小学校の校庭、園外保育など様々な場所で体を動かす機会をつくることができた。
- ・園全体やクラスごとで体操に取り組み、体を動かすことを楽しむことができた。（誕生会、なかよしランド、戸外遊びの際 など）

4月	5月	6月	7月	8・9月
だんごむし体操	どうぶつ体操	ペンギンのプール体操	おふろやさんにいこう	ディズニー体操
10月	11月	12月	1月	2・3月
でっかい体操	ようかいしりとり きょうりゅうダンス むしむしフェスティバル	クリスマスの歌が きこえてくるよ	ラーメン体操	だるまさんがおどった

- 月1回以上、教職員が季節や時期に応じた体を動かす遊びや体操等の教材研究を行い、取り組むことができた。
- ・月1回以上、体操等をする中で、その時々々の季節の体操を楽しんだり、年度当初と比べ、早い動きの体操等を楽しんだりする姿につながった。

次年度への改善点

- ・就学前教育カリキュラムの活用方法を考え、教員の資質向上に努める。
- ・引き続き、三軒家西小学校の校庭をお借りして、計画的に体を存分に動かして遊ぶ機会を増やしていく。
- ・計画的に季節や時期に応じた体を動かす遊びや体操等ができるよう、担任が見通しを持ち、クラス内で取り組んだり、遊びの中で紹介し合ったりする機会を設ける。

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】 2-2</b> <b>園の年度目標</b> 保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<b>取組内容①【基本的な方向5 健康教育・食育の推進】</b> 子どもが自分の健康や食に興味や関心をもち、基本的な生活習慣を身につける。	A
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの実態に合わせた保健指導を実施する。(月1回)</li> <li>・保護者の理解を深めるために、保護者向けの保健指導を実施する。(年3回)</li> <li>・ほけんだよりや降園連絡等を活用し、保護者への啓発を行う。(月2回)</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析				
<b>【年度目標】</b> について 3学期末の保護者アンケートで、「自分の体の健康への興味・関心をもち、基本的な生活習慣が身についていますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は94%であった。				
<b>【取組内容①】</b> について ○子どもの実態に合わせた保健指導を月に1回行った。				
	4月	5月	6月	7月
3歳児	手洗い	トイレの使い方	熱中症	夏休みの過ごし方
4歳児	手洗い	うがい	熱中症 プライベートパーツ	夏休みの過ごし方
5歳児	手洗い	3色食品	熱中症 プライベートパーツ	夏休みの過ごし方
	9月	10月	11月	12月
3歳児	けがの予防	目の大切さ	姿勢	手洗い・うがい
4歳児	けがの予防	目の大切さ	友達の気持ち	手洗い・うがい
5歳児	けがの予防	目の大切さ	咳エチケット	手洗い・うがい

	1月	2月	3月
3歳児	寒さに負けない体づくり	お尻の拭き方	感謝の気持ち
4歳児	寒さに負けない体づくり	噛むことの大切さ	感謝の気持ち
5歳児	寒さに負けない体づくり	ふわふわ言葉とちくちく言葉	成長の記録

○3歳児

- ・4月に実施した「手洗い」。「あわあわ手洗いの歌」に合わせて、正しい手洗いの仕方を指導したことで、歌に合わせて手順通りに洗うことができた。また、手洗いの視覚物を掲示したことで、1年を通して継続的に子どもたちが自ら楽しんで手洗いする姿につながった。
- ・2月に実施した「お尻の拭き方」。実際に風船をお尻に見立て自分で拭いたことで、お尻に手が届くことや正しい拭き方を知ることができた。また、自分でやってみることで自信が付き、自分でも拭こうとする意識が高まった。

○4歳児

- ・10月に実施した「目の大切さ」。2mリボンを付けた手作り眼鏡を用いて、テレビとの適切な距離について指導を行った。家庭でも適切な距離を測れるよう持ち帰らせたことで、眼鏡を使いながら離れてテレビを見たことを子どもから聞き、指導内容が家庭でも継続している。
- ・12月に実施した「手洗い・うがい」。4月に実施した手洗い指導を再度、実施したことで子どもへの意識づけにつながった。また、掲示物を子どもの目線の先に掲示することで、1つ1つの手順を自分で確認しながら洗う様子が見られた。

○5歳児

- ・11月に実施した「咳エチケット」。指導前では、手で押さえて咳をする子や押さえずに咳をする子が大半であったが、指導後より肘の内側で口を押さえる様子やマスクを着用して登園する様子が見られた。
- ・2月に実施した「ふわふわ言葉とちくちく言葉」。指導前では、伝え方の違いにより気持ちが上手く伝わらなかったが、指導後より保育室内に掲示した“ふわふわ言葉とちくちく言葉表”を見ながら、伝え方を意識しながら友達に声掛けをしている様子が見られた。また、保護者より家庭でもふわふわ言葉を意識して使う様子を聞き、指導内容が家庭でも継続している。

○保護者の理解を深めるために、保護者向けの保健指導を1学期に1回行った。

実施日	場合	テーマ	内容
7月17日	1学期終業式	夏休みの過ごし方	教員の寸劇
9月10日	歯磨き指導	歯の磨き方	歯科衛生士さん講演
12月23日	2学期終業式	年末年始の過ごし方	パワーポイント
3月23日	3学期終業式	1年間の保健指導	パワーポイント

○ほけんだよりや降園連絡等を活用し、保護者への啓発を月に2回行った。

- ・ほけんだよりでは、実施した保健指導の内容を掲載し、降園連絡での啓発も行った。
- ・預かり保育の保護者にも啓発が行えるように、玄関に保健指導内容を掲示する。
- ・ホームページに保健指導の様子も掲載し、園での取り組みについて周知した。
- ・指導時の写真に子どものつぶやきを記載し、指導の様子を伝えたことで、家庭でも取り組む姿が見られた。

#### 次年度への改善点

- 保護者アンケートの回答により「行ってほしい保健指導」を取り上げ、次年度の子どもの実態を踏まえ、適切なタイミングで実施する。
- 5歳児に関しては、進学に向けて「心の健康」や「対人関係」に関する保健指導も取り上げ、実施する回数を少しずつ増やしていく。
- 今後も園だけでなく、家庭での取り組みが充実するよう、保護者参加型や保護者向けの保健指導を実施し、保護者の意識向上につなげる。
- 保健指導時の様子をほけんだよりやホームページ「学校日誌」にて掲載し、保護者や地域等への周知・啓発を続けていく。

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】 3-1</b> <b>園の年度目標</b> 保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を85%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</b> 身近な地域の人たちや保育所・こども園・小学校、未就園児との交流活動を存分に楽しむ。	A
<b>指標</b> ・地域や学校園所と連携しながら、交流活動を実施する。(年3回) ・未就園児交流活動(なかよしランド)を実施する。(年10回) ・教育活動についてホームページや降園連絡を通じて広く知らせる。(週2回)	
<b>取組内容②【基本的な方向8 生涯学習の支援】</b> 絵本やお話にふれ、子どもたちの心を豊かに育てる。	A
<b>指標</b> ・地域のボランティアによる絵本の読み聞かせの会を実施する。(年2回) ・様々な絵本に触れられるように、絵本貸し出しを行う。(月3回)	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<b>【年度目標について】</b> 保護者アンケートで、「身近な地域の人たちや小学校などとの交流に、興味・関心をもって参加していますか」という内容の項目について、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を100%であった。
<b>【取組内容①】について</b> ○近隣小学校では、給食時間に校庭で遊ばせていただき、広い校庭を走ったり遊具で遊んだりすることを楽しんだ。また、小学校の教職員の方々がいつも声をかけてくださるので、小学校の先生に親しみをもっている。2月には1年生の「昔遊び」に招待してもらい、関わりをもつとともに、進学への期待感が大きくなった。 ・近隣のこども園と、4回交流を行った(幼稚園で2回、岩崎橋公園で1回、三軒家西小学校で1回)。回を重ねるごとに親しみをもって関わるようになっている。 ○未就園児交流活動(なかよしランド)を年間13回行った。未就園児の遊ぶ様子を見たり、遊具を貸したりするなど、関わろうとする姿が見られた。 ・9月から「たんぼぼクラブ」を開始した。2学期からの実施ということもあり、すぐに

幼稚園に慣れ、毎回楽しみにしていると保護者からの声があった。

- 週に1回以上、教育活動や保育の様子についてホームページにあげた。降園連絡では毎日その日の子どもたちの様子について担任から連絡をし、保護者に日々の様子が分かりやすいように努めた。

**【取組内容②】**について

- 年間3回、絵本の会大正の方による絵本の読み聞かせの会を行った。パペットやエプロンシアター、大型絵本を用いて読み聞かせをしていただき、いろいろな話に興味をもつきっかけとなった。
- 絵本貸し出しを月3回行った。絵本貸し出しの回数を増やしたことで、子どもが絵本に親しむ機会が増えた。

次年度への改善点

- ・来年度も、小学校や近隣保育園との交流を行い、同じ地域での関わりが深まる取り組みを進める。
- ・保護者への伝え方について、園生活の楽しさがより伝わるような方法を工夫していく。
- ・少子化により、来園者が年々減少している。来園した未就園児や保護者に、就学前教育の大切さを知らせるとともに、より楽しく交流できる活動を工夫していく。